

営業の概況

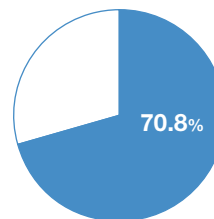
2009年12月31日に終了した事業年度

二輪車事業

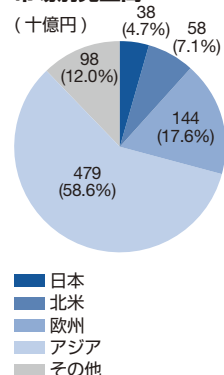


主要製品:
二輪車、海外生産用部品

売上高比率



市場別売上高

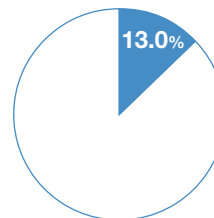


マリン事業

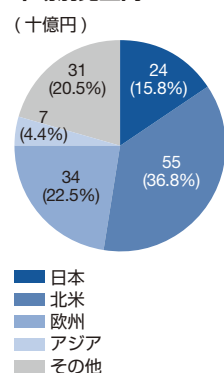


主要製品:
船外機、ウォータービークル(水上オートバイ)、レジャーボート、FRP(ガラス繊維強化プラスチック)ボート、漁船、和船、ディーゼルエンジン

売上高比率



市場別売上高

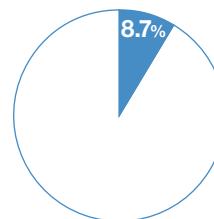


特機事業

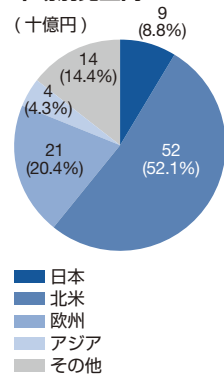


主要製品:
ATV(四輪バギー)、SSV(サイドバイ・サイド・ビークル)、スノーモビル、ゴルフカー、発電機、除雪機、汎用エンジン

売上高比率



市場別売上高

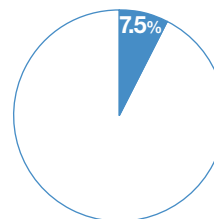


その他の事業

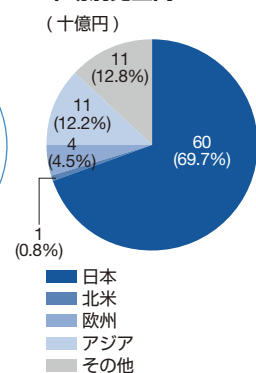


主要製品:
サーフェスマウンター(表面実装機)、産業用ロボット、自動車エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプター、電動車椅子、中間部品

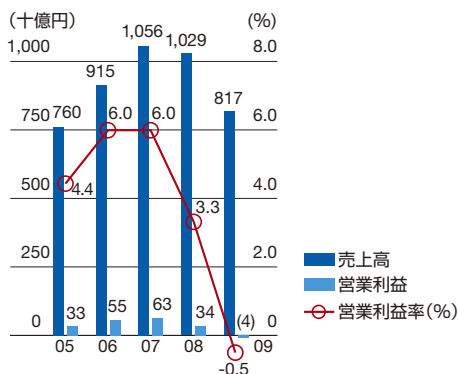
売上高比率



市場別売上高



業績



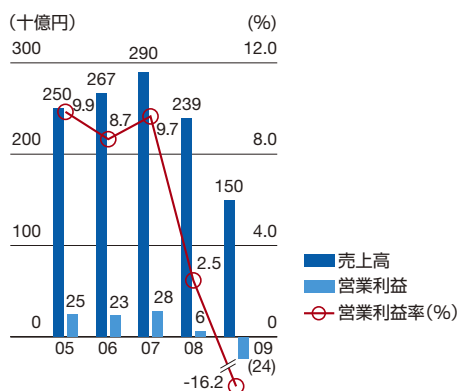
営業の概況:

2009年12月期(以下「2009年度」)、日米欧の先進国では、景気後退による需要の減少により、売上高は前年度比減少しました。アセアンでは、インドネシアの需要が減少する中、顧客基点のマーケティングを行うことにより、普及価格帯モペッドの「Vega(ベガ)-ZR」やオートマチックスクーターの「Mio(ミオ)」などの販売数量が増加しました。需要が早期に回復したベトナム、インドなどでも、新商品を積極的に投入することで販売は堅調に推移しましたが、為替円高による影響により、アジアでの売上高は前年度比減少しました。また、ブラジルを中心とした中南米の販売は、需要の減少により前年度比減少しました。

これらの結果、2009年度の売上高は前年度比2,118億円(20.6%)減少の8,171億円、営業利益は前年度比378億円減少し、42億円の損失となりました。

▶事業の概況 34～39ページ

業績



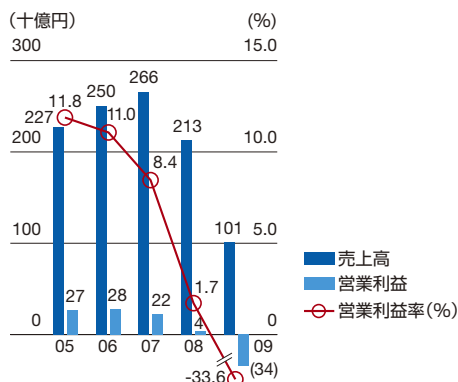
営業の概況:

米国での景気後退に伴うレジャー支出の減少による需要の低迷から、大型船外機やウォータービークルの販売が減少しました。また、欧州、ロシアでも船外機の販売が減少しました。

これらの結果、2009年度の売上高は、為替円高による影響に加え、流通在庫圧縮のための減産の影響もあり、前年度比887億円(37.1%)減少の1,501億円となり、営業利益は、前年度比304億円減少し、243億円の損失となりました。

▶事業の概況 40～41ページ

業績



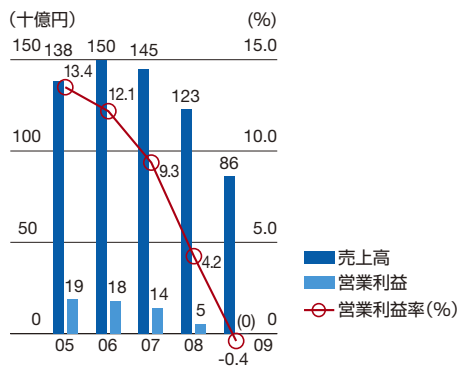
営業の概況:

米国での景気後退に伴うレジャー支出の減少による需要の低迷から、レジャー性の高いスポーツ四輪バギーやサイド・バイ・サイド・ビークルの販売が減少しました。

これらの結果、2009年度の売上高は、為替円高の影響や、流通在庫圧縮のための減産に加え、製造物賠償責任引当金の繰入れなどの影響もあり、前年度比1,127億円(52.8%)減少の1,006億円となり、営業利益は、前年度比373億円減少し、338億円の損失となりました。

▶事業の概況 42～43ページ

業績



営業の概況:

電動アシスト自転車は、健康や環境に対する意識の高まりなどにより需要が増加し、新基準対応モデルや幼児二人同乗用モデルなどの市場投入により、販売は好調に推移しました。しかしながら、景気低迷による需要減少により自動車エンジンやサーフェスマウンターなどの販売が減少しました。

これらの結果、2009年度の売上高は、前年度比371億円(30.2%)減少の859億円、営業利益は前年度比55億円減少し、4億円の損失となりました。

▶事業の概況 44～46ページ